

棚田学会通信

第71号 目次 2024年2月26日発行

特集：棚田の再生・復旧	1
人が棚田を再生し、棚田が人を再生する	1
ー「蒲生の棚田」再生の記録ー	2
石見棚田の再生とホテルの復活	4
「棚田復活プロジェクト」の活動	5
生物多様性に富んだ名古木の棚田を次世代につなぐ	6
2023年度棚田学会人会シンポジウム顔末	7
令和6年能登半島地震からの復旧・復興	8



「蒲生の棚田」(本文参照)に、この景観が4年ぶりに復活

特集：棚田の再生・復旧



ブルドーザーのブレードを一定の高さに保ってバックしながら均平化(「蒲生の棚田」復田の作業)



田に入れる湧水を温めるための「江」(え)をつくる(同左)

本号では、「棚田の再生・復旧」のテーマで特集を企画しました。耕作放棄されていたものを再生する場合と、自然災害などで崩壊したものを復旧する場合がありますが、4つの現地報告は、いずれも前者の例です。そのうち3つは、「棚田百選」ではなく、新たに「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に認定された地区であり、再生の取り組みがなければ、認定もされなかったものと思われます。放棄されていた期間が長いほど、その再生には想像を絶するほどの多大な労力が必要です。そのご努力に深く敬意を表します。

(棚田学会編集委員会)